

講師紹介

松本俊彦（まつもと・としひこ）

独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
自殺予防総合対策センター副センター長
薬物依存研究部 診断治療開発研究室長

平成5年佐賀医科大学医学部卒業後、横浜市立大学医学部附属病院にて臨床研修の後、国立横浜病院精神科、神奈川県立精神医療センター、横浜市立大学医学部附属病院精神科などを経て、平成22年より現職。

日本アルコール・薬物医学会理事、日本精神科救急学会理事、日本青年期精神療法学会理事、日本依存神経精神科学会評議員、日本司法精神医学会評議員。

主著として、「自傷行為の理解と援助」（日本評論社，2009）、「アディクションとしての自傷」（星和書店，2011）、「自傷・自殺する子どもたち」（合同出版，2014）、編著としては「中高生のためのメンタル系サバイバルガイド」（日本評論社，2012）、「くすりにたよらない精神医学」（日本評論社，2013）などがある。